

第12回 六ヶ所村新庁舎建設検討委員会 議事録

日時	令和6年3月21日(木) 10:00~11:30	
場所	六ヶ所村文化交流プラザ スロニー 大会議室	
出席者	<p>鳥山義隆委員(六ヶ所村議会議長)</p> <p>附田角栄委員(六ヶ所村議会総務教育常任委員会委員長)</p> <p>高橋信委員(東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻技術社会システム専攻 教授) 【委員長】</p> <p>小藤一樹委員(学校法人八戸工業大学工学部工学科建築・土木工学コース 教授) 【副委員長】</p> <p>小泉國雄委員(六ヶ所村行政連絡員協議会 会長)</p> <p>三戸秀子委員(六ヶ所村地域連合婦人会 会長) ※欠席</p> <p>種市治雄委員(六ヶ所村商工会 会長)</p> <p>及川次夫委員(一般社団法人六ヶ所村観光協会 会長)</p> <p>橋本喜代二委員(社会福祉法人六ヶ所村社会福祉協議会 会長)</p> <p>高田孝徳委員(六ヶ所村三漁協協議会 会長)</p> <p>石久保齊委員(六ヶ所村農業委員会 会長)</p> <p>久保勝廣委員(特定非営利活動法人六ヶ所村スポーツ協会 会長)</p> <p>橋本篤哉委員(六ヶ所村教育委員会 教育長職務代理者)</p> <p>齋藤英明委員(公募)</p> <p>秋元美穂委員(公募) ※欠席</p> <p>竹内大二委員(公益財団法人環境科学技術研究所 理事)</p> <p>林巧委員(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子エネルギー部門 六ヶ所研究所 ブランケット研究開発部長)</p> <p>石坂直人委員(新むつ小川原株式会社取締役常務執行役員 青森本部長)</p> <p>相澤文雄委員(日本原燃株式会社地域・広報本部 副本部長)</p>	
	事務局	<p>六ヶ所村役場 総務課 種市課長</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 高村課長補佐</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 林下GM</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 佐々木主幹</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 相内主査</p>
	事務局支援	建設技術研究所東京本社都市部 PFI・PPP室 川井、猪股、石井、徳永

1. 配布資料

- 資料1 六ヶ所村新庁舎建設基本計画（案）
- 参考資料1 六ヶ所村新庁舎建設基本計画（案）の構成について
- 参考資料2 第11回六ヶ所村新庁舎建設検討委員会議事録
- 参考資料3 六ヶ所村新庁舎建設検討委員会設置要綱

2. 審議内容

開会

- 事務局より、開会の挨拶を行った。

事務局より資料の確認

- 事務局より、配布資料の確認を行った。

委員長あいさつ

- 委員長より、挨拶を行った。

3. 案件

(1) 六ヶ所村新庁舎建設基本計画（案）について

- 事務局より、「資料1 六ヶ所村新庁舎建設基本計画（案）」の「5 新庁舎の建築計画」「6 事業計画」について説明。
- 【委員】ライフサイクルコストの運用コスト、保全コスト、使用終了時コストについて、詳細を説明してほしい。
- → 【CTI】「建築物のライフサイクルコスト」という国交省が監修している本に記載の算定式より算出している。運用コストは主に光熱水費を指し、保全コストは約15年単位で行われる大規模改修、またその間に行われる小規模改修に係る費用を指す。使用終了時コストは解体費用である。
- → 【委員】運用コストより保全コストの方が高いのか。
- → 【CTI】機器の更新や防水、外構等多種の改修が必要であるため、長期的に見ると保全コストが高くなる。
- 【委員】事業手法について、県内において従来手法の事例は多いが、DB手法とPFI手法で行った県内の庁舎建設事例はあるか。
- → 【事務局】県内は、ほとんどが従来方式であり、DB手法の事例はなかった。PFI手法の庁舎整備事例は八戸合同庁舎と平内町役場の事例がある。
- 【委員長】図6-2について、ライフサイクルコストの高い年が不規則な間隔であるが、規則的になるのではないかと。図の意味を教えてください。
- → 【CTI】大規模修繕には、防水工事や機器の更新という短いスパンで行われる修繕や、外壁改修のように大規模な改修等がある。多種の改修があるため、コストにばらつきがある。
- → 【委員長】10年ごとの規則性があるのは理解できるが、 $n+34$ が高いのはなぜか。
- → 【CTI】確認でき次第回答する。
- 【委員】配置計画について、パターン3の課題は説明されなかったが、課題があれば教えてください。
- → 【事務局】可能性がある4パターンを示したが、パターン3は大きな課題はないと認識している。

- 【委員長】パターン4は、他のパターンと異なり、南側の建て替えを含めて提案されているが、南側敷地は整理が必要だと思うが、スケジュールはどうか。
- → 【事務局】委員会の中で、現庁舎敷地を有効活用するべきという意見もあったため、パターン4を提案した。南側の建物の耐用年数を終えた際に建て替えることを想定しており、そのために庁舎整備と合わせて検討した方が良くと考え、南側敷地も含めている。
- 【委員】耐用年数は80年としているが、減価償却等を考えると一般的には40年から50年くらいにし、空調の更新等を抑えて新しい庁舎へ建て替えを行った方が安いと考えるが、試算はしているのか。
- → 【CTI】RC造の耐用年数は60年が一般的だったが、小学校を始めとした多数の公共施設の建て替え事業が切迫している背景より、国から長寿命化を通じて80年を目標とする方針が出てきている。そのため、改修を行いながら長く使用することを目標とする自治体が増えてきている。
- 【委員】核防護の観点から、陽圧化を行う関係で空調設備の金額が膨らむと思うが、フィルターの入替え等定期的にかかるコストも見込んでいるのか。
- → 【事務局】現時点では陽圧化をどの範囲まで行うか等が未定のため、計上はしていない。視察に行った女川町では、災害対策本部のみ陽圧化の整備をしていた。庁舎全体を陽圧化すると莫大な費用がかかるため、整備範囲を検討する必要がある。
- 【委員】事業手法の評価項目の重要度について、「コスト縮減」と「地元企業の参画」が高いのはわかるが、「村の意向反映」も高いと思うが違うのか。
- → 【事務局】ご指摘のように「村の意向反映」は大変重要であるが、資料の中では「中」としているため、検討したい。
- → 【委員長】重要度は、事業手法の中でどれだけ反映しやすいかを指すと理解している。
- → 【事務局】そうである。
- 【委員】ライフサイクルコストについて、保全コストが建設費よりも1.5倍ほどかかるということは理解できる。保全コストは今後絶対に必要な費用であるため、高く想定することで将来的には良いと思うが、年に2億円ほどかかることになる。村の財政力は問題ないのか。
- → 【事務局】村の財政力指数は1.62であり、かなり余裕がある数字だが、予算編成では厳しい状況ということだった。今まであった基金が減ってきている状況ではある。
- 【委員長】建設コストが非常に上がっている状況だが、基本計画に記載の概算事業費は昨今の上昇分を考慮しているのか。
- → 【事務局】最近の状況を考慮して見直しを行った。ただし、陽圧化に係る費用とZEB費用は概算には含まれていない。
- 【委員】p.18の4.3.3で、来庁者用駐車場を30㎡として修正があったように思う。
- → 【小藤委員】来庁者用駐車場は30㎡で、職員用駐車場は25㎡となり、面積が異なる。
- → 【事務局】p.17に図がある通り、職員用は1台あたり25㎡、来庁者用は1台あたり30㎡で算出しているため、反映されていると認識している。

(2) 答申(案)について

- 事務局より、「六ヶ所村新庁舎建設基本構想・基本計画について(答申)」について説明。
- 【全員】疑義事項なし。
- → 【委員長】この案をもって答申とする。

その他・閉会

- 委員長より、挨拶を行った。
- 閉会